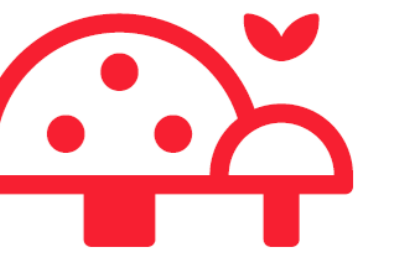


第6波流行期の発熱外来における新型コロナウイルス陽性小児の背景と臨床的特徴の解析

たかのこどもクリニック 高野智子



“Take Home Message”

COVID19小児例は周囲に感染者があり、症状は発熱、咽頭痛、頭痛が多く、鼻症状が少ない

はじめに

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の第6波流行期では小児例も多かった。国内の小児COVID-19の臨床的特徴は小児科学会において入院症例を中心にまとめられている。しかしながら、1次医療機関における小児COVID-19の臨床的特徴を検討した報告は少ない。

目的

第6波流行期に発熱外来を受診した小児における新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)陽性例の背景及び臨床的特徴を明らかにする。

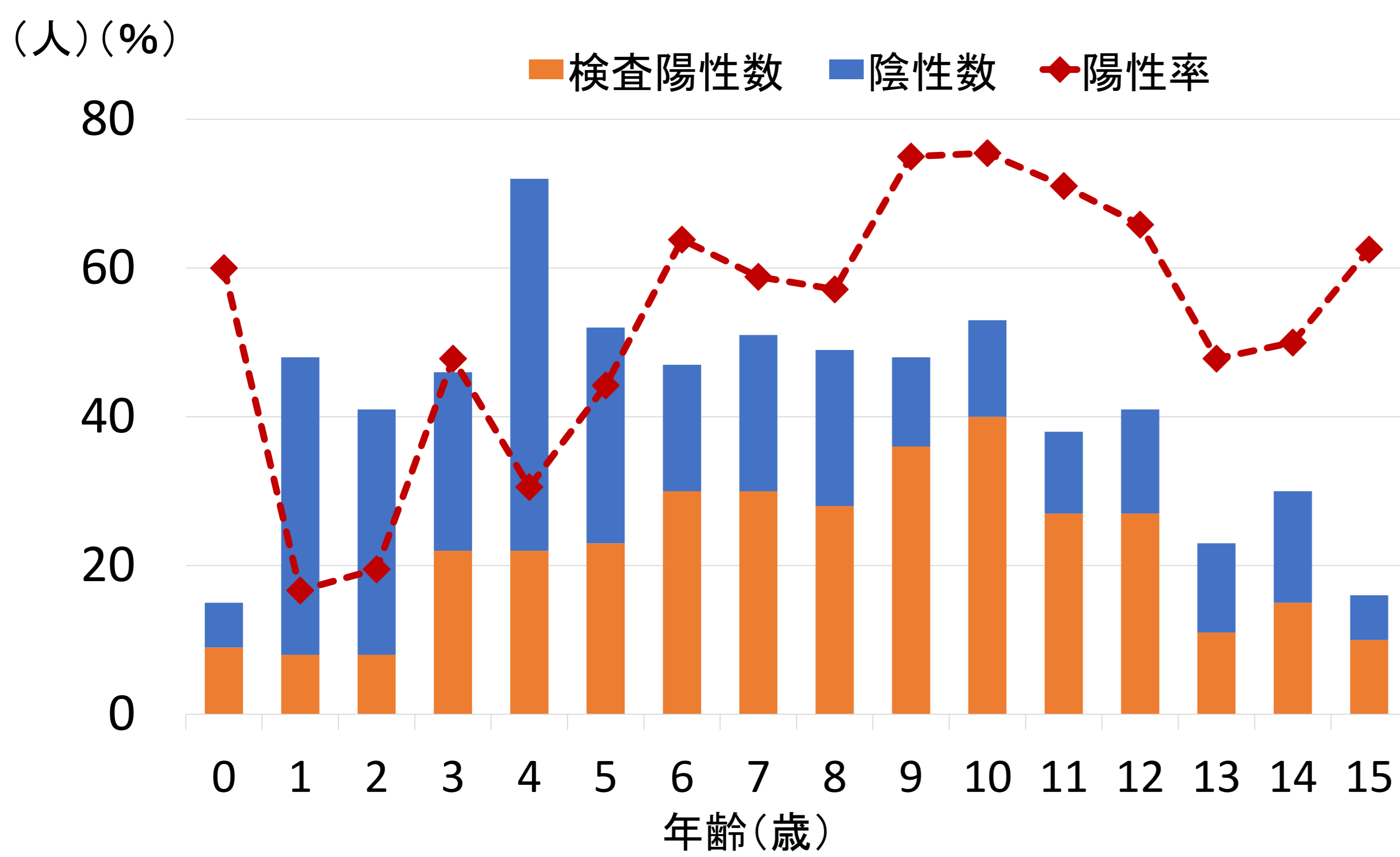
方法

2022年1月から3月に当クリニック発熱外来を受診しSARS-CoV-2検査を施行した小児例(16歳未満)について、家族の感染者状況、学校・幼稚園・保育所など(学校と略)の感染者状況、発熱、咳、咽頭痛などの臨床症状について検討した。

結果 ① 検査数

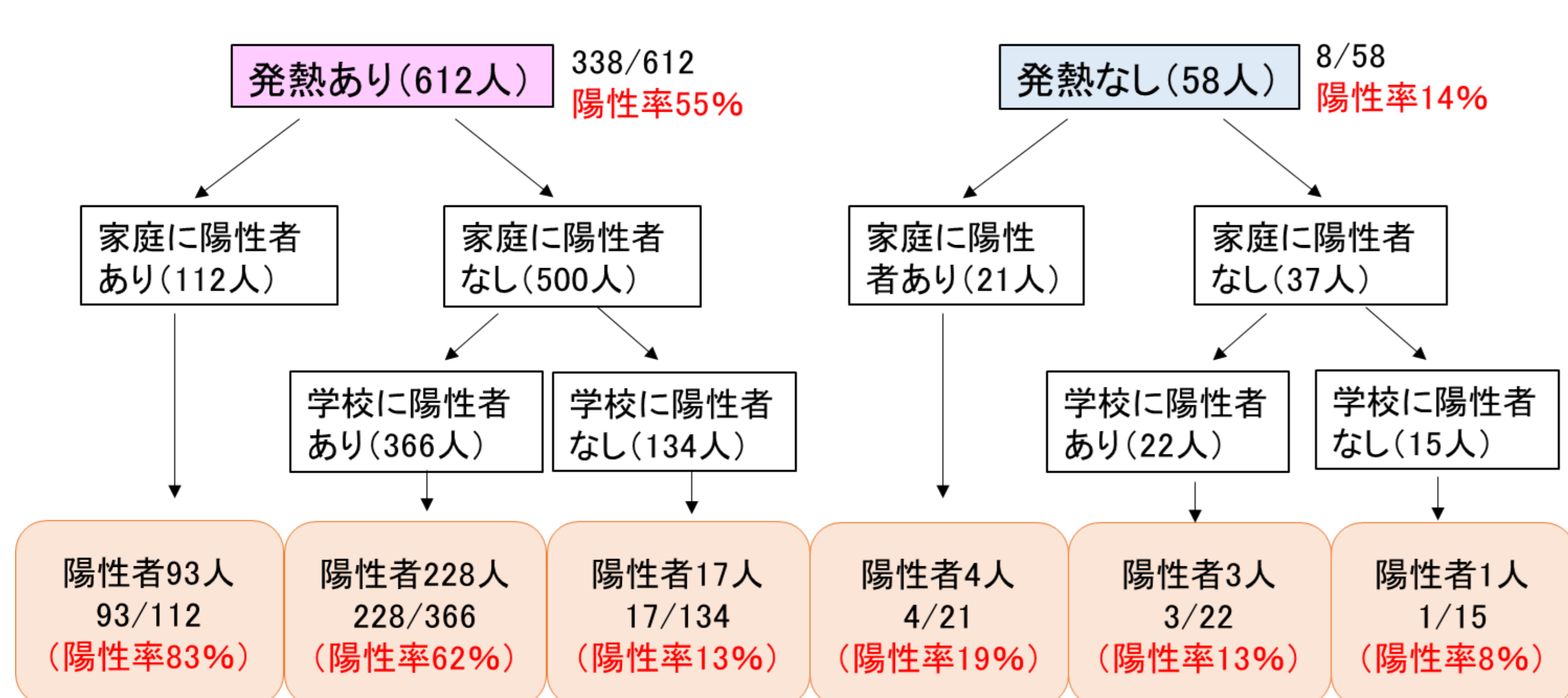
検査数670例(PCR検査502例, 抗原検査168例)
男371名, 女299名. 年齢0~15歳, 中央値7歳
陽性例346例, 陽性率52%

② 年齢別検査数と陽性率



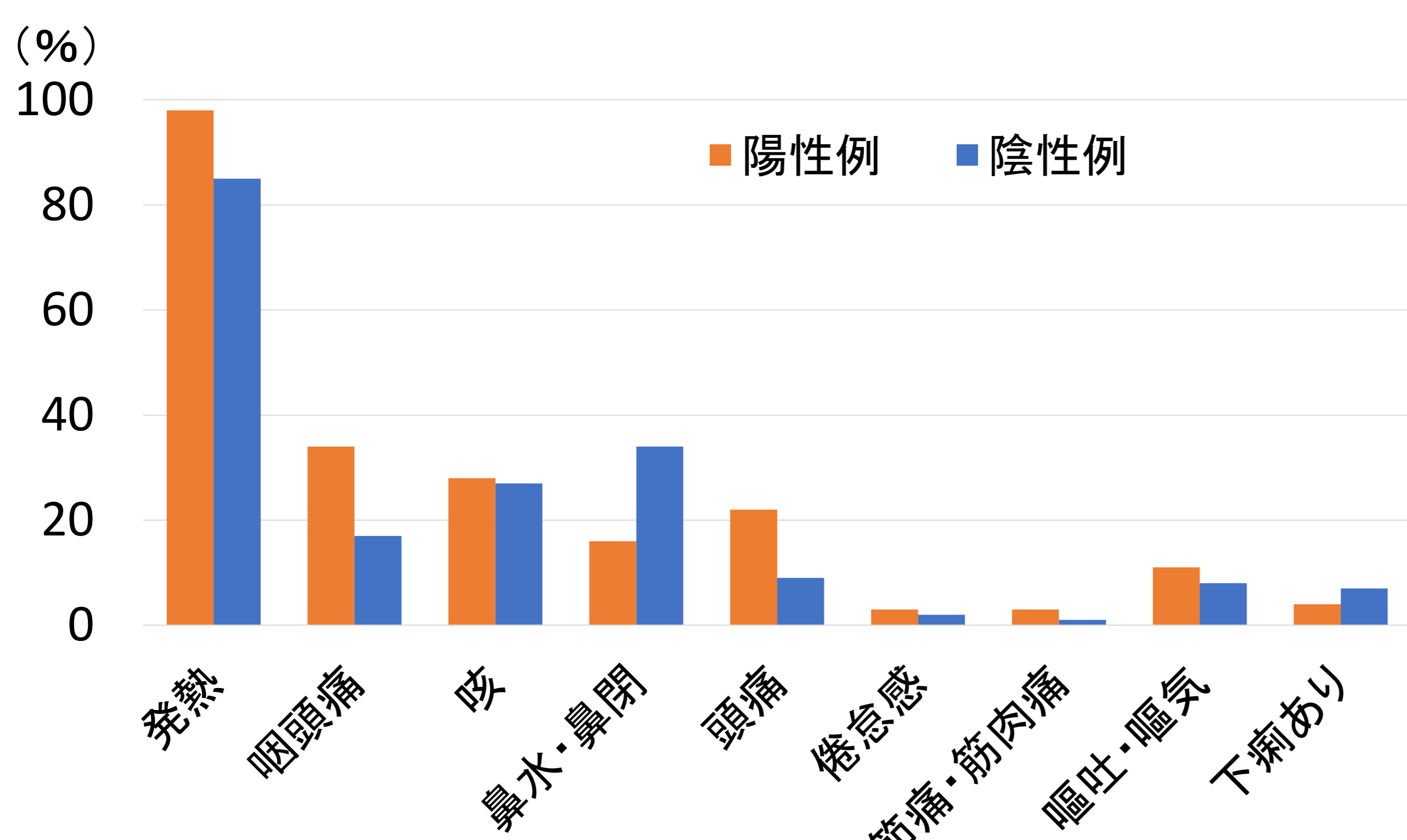
1-2歳は陽性率が低く、6歳以上で陽性率が高い

③ 発熱と周囲の感染状況からみた陽性率



発熱があり、家庭や学校に陽性者がいる場合に陽性率が高い

④ 陽性例と陰性例の症状



陽性例は、発熱の他は咽頭痛、頭痛が多く、鼻症状は少なかった

⑤ 陽性例と陰性例の周囲の感染状況と臨床症状の比較

解析に年齢を入れたため、抄録と違いあり

	陽性 n(%) n=346	陰性 n(%) n=324	p値	オッズ比	OR95%信頼 区間	p値
周囲の感染状況						
学校に感染者あり	257(74)	166(51)	<0.001	5.7	3.5-9.2	<0.001
家庭内感染者あり	97(28)	36(11)	<0.001	19.2	10.0-36.5	<0.001
臨床症状						
発熱あり	338(98)	274(85)	<0.001	14.4	5.7-36.2	<0.001
咽頭痛あり	117(34)	56(17)	<0.001	1.4	0.9-2.2	0.130
咳あり	96(28)	86(27)	0.729			
鼻水・鼻閉あり	55(16)	109(34)	<0.001	0.5	0.3-0.7	0.001
頭痛あり	77(22)	29(9)	<0.001	2.0	1.2-3.4	0.008
倦怠感あり	10(3)	8(2)	0.814			
関節痛・筋肉痛あり	12(3)	3(1)	0.035			
嘔吐・嘔気あり	38(11)	26(8)	0.237			
下痢あり	14(4)	24(7)	0.067			
年齢						
0-5歳/6-15歳	92/254	182/142	<0.001	3.3	2.2-5.0	<0.001
※検査法						
PCR検査/抗原検査	253/93	249/75	0.2851			

陽性例は周囲に感染者があり、症状は発熱のある例、頭痛のある例が多く、鼻症状のある例は少ない

⑥ 年齢別の陽性例の特徴

0-5歳	陽性 n(%) n=92	陰性 n(%) n=182	p値	オッズ比	OR95%信頼 区間	p値
周囲の感染状況						
保育所・幼稚園に感染者あり	51(55)	91(50)	0.443			
家庭内感染者あり	42(46)	24(13)	<0.001	6.02	3.23-11.21	<0.001
臨床症状						
発熱あり	88(96)	162(89)	0.073	3.88	1.17-12.87	0.027
咽頭痛あり	8(9)	15(8)	1.000			
咳あり	32(35)	59(32)	0.786			
鼻水・鼻閉あり	23(25)	76(42)	0.008	0.44	0.24-0.81	0.007
頭痛あり	7(8)	7(4)	0.244			

0-5歳は家庭内に陽性者がいる場合、発熱がある場合、鼻症状がない場合に陽性の可能性が高い

6-15歳	陽性 n(%) n=254	陰性 n(%) n=142	p値	オッズ比	OR95%信頼 区間	p値
周囲の感染状況						
学校に感染者あり	206(81)	75(53)	<0.001	13.26	6.33-27.81	<0.001
家庭内感染者あり	55(22)	12(9)	<0.001	105.74	21.73-514.57	<0.001
臨床症状						
発熱あり	250(98)	112(79)	<0.001	73.86	12.96-420.85	<0.001
咽頭痛あり	109(43)	41(29)	0.007	1.64	0.94-2.84	0.079
咳あり	64(25)	27(19)	0.173	1.42	0.73-2.77	0.307
鼻水・鼻閉あり	32(13)	33(23)	0.007	0.49	0.25-0.99	0.046
頭痛あり	70(28)	22(15)	0.006	2.40	1.26-4.60	0.008

6-15歳は学校または家庭内に陽性者がいる場合、発熱がある場合、頭痛がある場合に陽性の可能性が高い

まとめ

1. 発熱外来におけるSARS-CoV-2陽性例は発熱があり、家族または学校などに感染者のいる例が多かった。
2. 症状では発熱の他は頭痛が多く、鼻症状は少なかった。
3. 陽性例の特徴に年齢による違いがあった。

今回の検討より、検査対象例を

- 0-5歳では、発熱 + 周囲(家庭・保育)に感染者がいる症例
- 6-15歳では、発熱のある症例

とすることにした。

第54回日本小児感染症学会
COI開示
発表者: 高野智子
日本小児感染症学会の定める利益相反に
関する開示事項はありません